事業所名　だんだんのへや

支援プログラム

作成日　2026 年　7 月　17 日

法人（事業所）理念	「人間を大切にすることがすべての根元である」。これが亀田郷芦沼会の基本理念です。人が人らしく生き、安心して平和に暮らしていくために、地域の人々との関係という社会資本を基礎に力を尽くすことこそ、私たちの使命であると考えます。										
支援方針	五感を刺激するような活動を目指し、楽しく過ごせるように職員も楽しみながら日々ケアを行っています。										
営業時間	児童発達支援 放デイ	９ １４	時 時	００ ００	分 分から	１５ １７	時 時	３０ ００	分 分まで	送迎実施の有無	あり　なし　（学校から事業所のみの送迎）
	支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	健康チェックを行うとともに、意思表示が困難なご利用者様の小さなサインにも気付けるように仕草や表情等を見逃さないように支援を行います。 食事や排泄の際はご自分でできることは行えるように言葉がけのフォローをします。また、少しでもご自分でできる部分が増えるようにご家族、学校、相談支援事業所、他放課後等デイサービスと情報共有を行いながら取り組んでいきます。									
	運動・感覚	拘縮や変形の予防や筋力維持のためにプレーリーや短下肢装具等を装着して過ごしていただきます。ご家族の希望に合わせて情報共有を行いながら、理学療法士や作業療法士によるマッサージや機能訓練に取り組みます。またレクリエーションの際は様々な感覚を刺激できるような活動を提供します。									
	認知・行動	ご本人の発達に合わせておもちゃや絵本を使用しながら言葉を認知できるように支援を行います。感覚過敏があるご利用者様については環境を整えて対応します。									
	言語 コミュニケーション	絵カード等を使用して、自分の気持ちや意思を伝えることができるように支援を行います。その際に指差しや視線での選択ができるように言葉がけを行いながら取り組んで行きます。									
	人間関係 社会性	事業所で安心して過ごせるように職員と関係を築けるようにコミュニケーションをとります。そのうえでひとり遊びやルールを守って過ごせるように支援を行います。									
家族支援	ご利用者様のケアの仕方や困っていることをご家族に寄り添いながら一緒に考えていきます。また、事業所で解決が困難なことについては相談員や医療機関に情報提供を行いながら随時対応します。								移行支援	特別支援学校へ入学する際や卒業して他サービスを利用する際は、情報提供や必要に応じて見学に来ていただいてご本人の課題等をお伝えします。	
地域支援・地域連携	連絡会等、重症心身障がい児施設や関連する機関と情報共有を行いながら、地域の中でご本人、ご家族様が気持ちを抱え込まずに生活できるように支援を行います。								職員の質の向上	事業所内で適宜研修を行います。また、専門性の高い内容については外部研修を受講し、職員ひとりひとりがスキルアップを目指します。	
主な行事等	創作活動では施設内の季節ごとの飾りを作っています。イベントに合わせて創作活動を楽しみます。夏祭りやハロウィンの仮装等のイベントごとのレクリエーションも行い、併設の特別養護老人ホーム風の笛のイベントにも参加します。										